

最新の演出・機材 特集！

第5回 ライブ・エンターテインメントEXPO

会期: 2018年2月21日[水]~2月23日[金] 10:00~18:00 (最終日のみ17:00終了)

主催: リード エグジビション ジャパン(株) 会場: 幕張メッセ

第5回ライブ・エンターテインメントEXPOは、演出・演出機材、ホログラム、VRからグッズ、チケットサービスまでライブ・エンターテインメントに関する製品・サービスが630社出展する、本分野日本最大の見本市です。2000年から市場規模を約2倍に拡大したライブ市場、「リアル体験」を重要視する消費者、とますますニーズが高まるライブ業界では最新の機材が続々登場。更に活性化される最新の製品・サービスの数々をぜひご取材ください！下記に出展商品のほんの一部をご紹介します。※本展示会の取材には、事前の取材申込が必須となります。申込みフォームよりお手続きください。

日本初導入！新映像演出システム

ビジュアルモーションシステム [Kinesys] (キネシス)

日本初導入の超高精度ビジュアルモーションシステム「Kinesys」。大型映像がイベント空間を躍動します。ライブ・コンサート、テレビ番組でも採用されているKinesys、これまでの常識を超えた感動をブースで体験できます。
(株式会社 映像センター <AVC>)



水から炎！？炎と水の饗宴！

水と炎という相反する2つの要素が共存する画期的な演出です。水柱を垂直に立てれば、炎はその柱を垂直に昇っていき、また水柱をアーチ状に配置すると、炎はそのアーチを渡っていきます。今までにない演出をしたい方にお勧めです。音楽に合わせて自由自在に操れます。数百の噴水ショーのクライマックスに炎との共演はド迫力です！
(株式会社 クリエイティブスペース)



球体ディスプレイで360度映像を映せる！

球体型LEDディスプレイ

360度映像を映し出すことができる球体型LEDディスプレイは置きでも吊りでも設置可能。他にも屋外対応の全天候型LEDディスプレイを展示。また、今回初お披露目の新規導入機材をブースにてご覧頂けます。

(株式会社 ブリッジリンク)

※出展社数、来場者数、国数、および製品数は、2017年10月18日時点での共同出展社を含めた最終見込み数字であり、開催時には増減の可能性があります。
※同種展示会との出展者数および製品展示面積の比較。※同時開催展の製品含む。
※出展商品は変更になる可能性があります。※写真は一部、出展社ホームページよりお借りしています。

取材のお申込みはこちら <http://www.live-event.jp/shuzai/>

あなたの動画で空間をジャック！？

空間演出プラットフォーム「AIC！」

壁を覆うマルチスクリーンに映像を投影することで、1つの部屋を、好きなアーティストやキャラクター専用の空間に一瞬で変化させることが可能。「360度動画」や「マルチアングル動画」にも対応しており、コンテンツ次第でどんなクラスタにもハマる空間を演出します。今までにない“大好きなものに包まれる空間”を実現。仲間同士集まって、いつでも好きな時に楽しめるので、既存ファンの心を掴むとともに、環境の変化などで中々ライブにいけないファンの心を熱くさせる場であり、ファンの手で新たなファンを生む場にもなります。QRを活用したシステムの為、アーティストごとのデザインカードとしてコンテンツの販売が可能。

(日本システムウェア 株式会社)



リアルとバーチャルの融合！

リアルタイム・エフェクター(仮)

従来は、大掛かりな設備や事前準備が必要だった「Mixed Reality(MR)」映像を誰もが手軽に、最小限の設備で、且つリアルタイムで楽しむことができるセンサーデバイスとソフトウェア。

立ち位置を決められた演者が3DCG映像に動きを合わせる従来のシステムとは違い、演者の動きをセンサーが感知してエフェクトを表示します。そのため演者は自由なパフォーマンスが可能。

(emmmR 株式会社)

取材のお申込みは 下記URLから または 取材申込書をFAXしてください
<http://www.live-event.jp/shuzai/>

※本展の取材は事前登録が必要です。

※取材のお申込みは、「報道」「記事掲載」などの取材を目的とした方のみご登録いただいております。

※事前のご登録が無い場合や、またご登録いただいても取材目的ではないご来場の場合、

また報道活動が認められないと主催者が判断した場合(個人ブログ・SNS等、極めて限定的な発信を含む)は当日プレス受付をお断りする可能性がございます。あらかじめご了承ください。

■取材申込書 返信先 >> FAX 03-3344-2400

貴社名:	媒体名:
所属・役職:	お名前:
E-mail:	
TEL:	FAX:

※今後このようなFAXが不要の方はお手数ですが、下の□にチェックをし、そのままFAX:03-3344-2400宛にご返信ください。

□今後のFAX配信を停止してください。 □今後E-mailでの配信にしてください。(E-mail:)